

長島町教育委員会の方針

本町では、中学卒業後ほとんどの生徒が、島外の高校へ進学するか、あるいは就職をします。

1つになった長島で小中学校時代を一緒に過ごしたという一体感を持って、新しい環境でも堂々と自立するたくましさや、互いに支え合う優しさを持つて欲しいと願っています。

30年ほど前までは、2100人の小中学生がいた本町ですが、現在はおよそ900人と、当時の2分の1を下回ります。児童生徒数は、今後も減少すると予想されています。

文部科学省は、小中学校ともに標準学級数を、全校で12～18学級が適正な規模として示しています。本町においては難しい規模ですが、子どもたちが統合・再編した学校で、大きな集団の中でさまざまな考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することで、より一層、一人ひとりの個性や能力を高めて欲しいと望んでいます。

特に中学校については、4校が統合するとクラス編成も可能になり、部活動も現在より多くの内容に取り組むことができます。

教員数も、現在町内で最も多い教員が在籍する中学校の、およそ2倍ほどの教員数を確保することが期待できます。

これらのことから、町教育委員会としては「長島町立小中学校等統廃合推進委員会」からの答申を推進していきたいと考えています。

下に紹介する作文は、町内の小学校6年生の作文です。非常に素晴らしい文章が書かれています。

文中にあるとおり、すべての子どもたちが、長島という自然が豊かで人情味溢れるこの町で生まれ育ったということに、大いに誇りを持ち続けて欲しいものです。

「ぼくの長島」

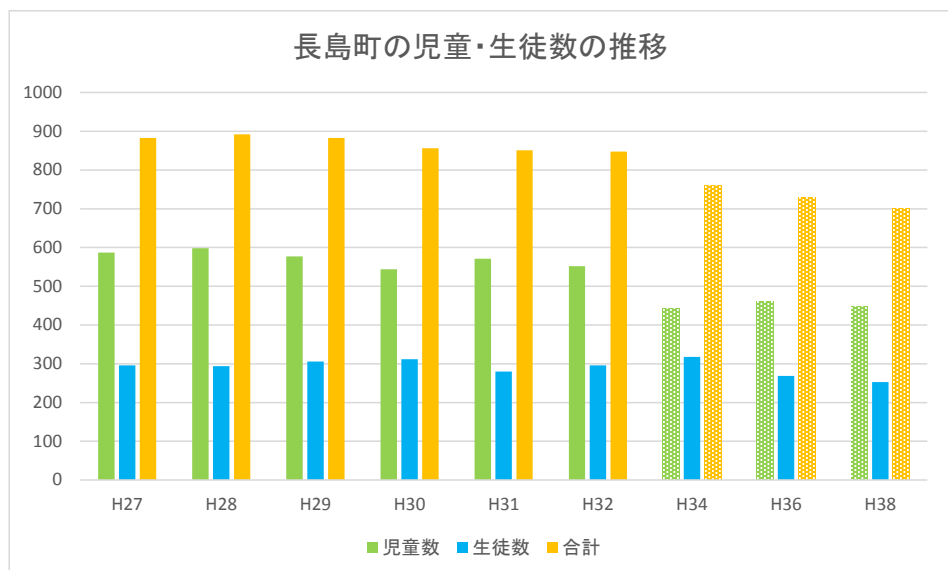
平尾小学校6年 宮園仁瑛（じんえい）

ぼくの家は長島の北の方にあります。目の前には長島海きょう。それをさんで天草の島がよく見えます。春にはじゃがいも畑が広がり、冬の空は出水の鶴の通り道になっています。中でも、夕日はとてもきれいです。

今日は、夕方に近くの公園に一人で散歩に行きました。行くとちゅう、草むらからガサガサと音がしました。見てみると、しつぽが10センチもあるトカゲでした。とてもおどろきました。公園に着いたら、すべり台に上って景色を見ました。夕日に照らされた多くの集落はとてもきれいでした。鳥たちの鳴き声、夕日がかがやき、風に吹かれて音を立てる木々…まるで自然の音楽会みたいでした。聞いていて、とても気持ちが良かったです。

日がしずむのに、まだまだ明るい景色。それを見ていると、また明日からの1週間をがんばろうと思いました。この公園から見る海、島、畑、耳をすませば聞こえる生き物の声や音。こういう長島の自然が、ぼくは大好きです。

長島町の児童・生徒数の推移



※平成34年度以降の児童・生徒数は、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口を基にした推計です

次のページには、7月から開催された住民説明会での様子を紹介します。